

Oracleを使って Webアプリケーションを 簡単に作る

統合環境“Oracle HTML DB”

高田 典子 TAKADA, Noriko 日本オラクル株式会社

はじめに

Oracle HTML DB (以下HTML DB) は、Webアプリケーションを簡単に開発／実行できる統合環境です。Oracle 10gに同梱されており^[注1]、データベー

Level

1 2 3 4 5

Technology Tools

- Visual Basic
- Visual C#
- Visual C++
- SQL Server
- Oracle
- Access
- Excel
- ASP.NET
- Other:

↓
Oracle 10g R2
HTML DB 1.6/2.0
apache

ス集中型のWebアプリケーションを容易に構築／実行できます。

これはOracleデータベースの標準機能であり、

- ・ Oracle Database Enterprise Edition
- ・ Oracle Database Standard Edition
- ・ Oracle Standard Edition One

において使用可能です。

HTML DBはブラウザベースでのデータ管理を容易にし、Web上のナビゲーションによって手軽にデータベースを構築／活用できるのが特徴です。たとえば、本特集の「OracleデータベースをOfficeで使う」で触れたようなExcelで管理していたシートをコピー＆ペーストするだけでデータベースに取り込むことができたり、ブラウザ上からデータベースオブジェクトを参照／作成／管理することも可能です。データベースの知識は特に必要ないながらも、Oracleデータベースの信頼性／パフォーマンスはそのまま継承

注1) HTML DBの最新版はOTN-Jからダウンロードすることができます (<http://otn.oracle.co.jp>)。

されます。

すべてのアプリケーションは、データベース表に格納されており、リアルタイムでアプリケーションをレンダリングします。アプリケーションを作成／変更する際には、コードはまったく変更されず、データベース表に格納されているメタデータを変更します。アプリケーションが実行されると、HTML DBエンジンはアプリケーション定義を読み込み、それに応じたアプリケーションを表示します。また、セッション情報もすべてデータベースに保存されています。

HTML DBの開発プラットフォーム

HTML DBは以下の3つのコンポーネントで構成されています (図1)。

- ・ アプリケーションビルダー
- ・ SQLワークショップ
- ・ 管理

アプリケーションビルダー

HTML DBでは、Webアプリケーションを動的に構築するために「アプリケーションビルダー」を使用します。データベースに格納された表やプロシージャなどのデータベースオブジェクトの外観としてHTMLアプリケーションを構築することができます。つまり、HTML DBアプリケーションとは、Oracleデータベースに格納されたデータを中核として構築されるWebページの集合であり、タブやボタン、リンク、チャートを使用することで多彩なWebアプリケーションを提供します(図2)。

このようなアプリケーションを、HTML DBのメニューから選択し、ウィザードに沿って作成することで容易に構築できます。

SQLワークショップ

「SQLワークショップ」は、ユーザーがWebブラウザを介してデータベースとやりとりできるツールです。SQL*Plusからコマンドを直接実行することなく、以下の機能が使用できます。

- SQLコマンドの実行
- SQLスクリプトのアップロードおよび実行
- 実行済みSQLの履歴の保持
- データベースオブジェクトの作成/変更
- データの例示問い合わせ
- データディクショナリの参照
- ドリルアップおよびドリルダウンを使用したデータベース参照の有効化

管理

HTML DBでは、開発者は作業領域と呼ばれる作業用の共有領域にアクセスします。ユーザーは、開発者と作業領域管理者という2つのロールに分類されます。開発者は、レポートを表示し、アプリケーションを作成および編集することができます。作業領域管理者は、HTML DB作業領域管理を使用して、ユーザーアカウントの作成および編集、グループの管理、開発サービスの管理を行ないます。

HTML DB 1.6および2.0新機能

今回は、最新のHTML DB 2.0および2005年3月11日より提供を開始してい

るHTML DB 1.6の新機能について紹介します。「(1.6)」と書かれた機能はHTML DB 1.6からの新機能であり、それ以外はHTML DB 2.0からの新機能となります。

アプリケーションビルダー新機能

• スプレッドシートに基づくアプリケーションの作成 (1.6)

既存のスプレッドシートのデータからHTML DBアプリケーションを作成するためのウィザードが追加されました。作成されたアプリケーションを基に、問い合わせの作成やレコードの追加/挿入/更新といったデータ分析の作業をブラウザ上で容易に実現できます。

• 多彩なアプリケーションの対応

アプリケーション作成ウィザードの

図1: HTML DBのコンポーネント



図2: アプリケーション例

